2004.8.23（号外 21）

吉野信次と市政に参加する1000人の会NEWS

SHINJI YOSHINO

発行　吉野信次と市政に参加する1000人の会
住所　松戸市新松戸3-137松栄ビル3階 松戸住民ひろば内
電話・ファックス 047-349-2132　　E-mail shinji-1000party@msj.biglobe.ne.jp
郵便振替口座　00130-0-76000　　http://www5b.biglobe.ne.jp/~matsudo/

保護者・住民との合意がない

「学校設置条例」改正提案を廃案に

保護者等の"合意"が得られていない！

8 月 5 日午後、8 月の松戸市教育委員会議が開かれ、議案として「松戸市小学校設置条例の一部を改正する条例の制定について」等が提案されました。

ある委員が、松戸版『教育改革』決定（昨年 10 月 15 日）時の付帯決議「強行実施はしない」を踏まえて、「（保護者等の）合意が得られていると言えますか？」との質問に、市教委は「100％の合意は得られない」「これからも協議会は続けていく」「対象校 6 校のうち新松戸北小と古ヶ崎南小の 2 校だけが反対している」「従って、学校数で過半数に達している」と言う趣旨の答弁をしました。この答弁が、いかに現実を無視し、飛躍した論理・詭弁か傍聴していた50名ほどの市民は唖然としました。市教委の強引な“詭弁”に質問した委員は「しっくりこない」と採決時には挙手しませんでした。しかし、多数で可決されました。

市議会は保護者と地域住民の声を聞き、条例改正案を廃案にしよう！

強行実施は許さない！

強行実施は、市民とのパートナーシップを進める松戸市政にとって、ゆゆしき問題。最近取られたアンケート結果でも新松戸北小で 72％、古ヶ崎南小で 93％の保護者が、市教委の統廃合計画に反対しています。他の 4 校の保護者でも、市教委の計画や説明に納得している市民は少ないのではないでしょうか。

なぜ、学校統廃合問題がこれだけこじれてしまったのか。その原因は、計画が拙速で、中身に説得できる内容がなかったこと。計画の説明に当たって、きちんとした情報公開と説明責任が果たされなかったこと。平然と詭弁を弄し、保護者や地域住民からの質問や提案に聞く耳を持たなかったこと。はじめから市民を信用していなかったからだと思います。

このような市教委の対応は許されません。

市議会は、条例改正提案を廃案に！

市教委は、統廃合の強行実施のために、根木内東小、新松戸北小、古ヶ崎南小の 3 校を廃校にする条例の改正提案を 9 月議会に提案してきます。市議会は、透明性の高い活発な論議と慎重な意志決定が求められています。

こんな詭弁によって、市民を愚弄し、強行実施する市教委の提案を市議会は、承認してはならないと思います。市長を支持する議員の動向がカギになります。地元の議員に声をかけてください。議会を傍聴してください。この条例提案を廃案にし、統廃合計画を長期的な視点に立って再検討し直す時です。

朝鮮問題第 4 回連続講座

早期の国交回復実現に向け、明治時代から太平洋戦争終了までの朝鮮と日本の関係・朝鮮史を学びます。

▼ 日時／9 月 11 日（土）PM1:30～4:30
▼ 会場／松戸住民ひろば
▼ ゲスト／朝鮮大学校の教務部
助手・李 柄輝（リ・ビョン・フィ）さん

6都県一斉の住民監査請求で史上最悪のダム

「八ッ場ダム」をストップさせよう

まったく意味のないダムに巨額の税金投入

今、首都圏に巨額の税金を浪費する無意味なダム計画が進められています。それは利根川の支流・吾妻川の中流部で工事が進む「八ッ場（やんば）ダム」です。川原湯温泉、名勝・吾妻渓谷なども水没します。大きな環境破壊を引き起こすこの計画を、6 都県の住民の力でストップさせましょう。

昨年 11 月、国交省は、八ッ場ダムの事業費を大幅に増額する基本計画変更案を発表しました。総負担額は約 8800 億円、国税は約 4600 億円、東京都約 1270 億円、埼玉県約 1210 億円、千葉県やく 760 億円、茨城県約 390 億円、群馬県約 350 億円、栃木県約 14 億円で、水道料金や都県民税の形で支払いを強制されます。

この計画変更について、特定多目的ダム法に基づき、知事に意見を求められた関係都県は、それぞれの議会で、承認をしています。

なぜ、八ッ場ダムはいらないのか

事業費が日本一高いダムになる八ッ場ダム、なぜ必要性がないのか。1.水需要が飽和状況に入って、利水の必要性がなくなっていること。2.利根川の洪水対策として役に立たないこと。3.地質が脆弱なので、災害を誘発する危険性が高いこと。4.関東の耶馬渓「吾妻渓谷」を台無しにし、イヌワシ等の生息を危うくさせること。5.国民の総負担額は約 8800 億

円にもなり、水道料金も跳ね上がることが予想されること。等々、検証すればするほど目を疑いたくなるような計画です。

住民監査請求で八ッ場ダム建設の中止を！

このような有害無益な八ッ場ダムの建設を中止させる最も有効な手段は、関係都県が八ッ場ダムへの不参加を表明することです。そこで、6 都県の住民有志が、このムダ使いをストップさせるために、住民監査請求を一斉に行うことにしました。税金を支払っている住民として、八ッ場ダムへの税金出費は「無駄遣い」だから調べなさいと、都県の監査委員に調べさせるのが、住民監査請求です。このダム建設に疑問を持たれる方は、是非住民監査請求の請求人に加わってください。8 月末まで募集しています。1000 人の会でも窓口になっています。大至急一報ください（℡・FAX047－349－2132）。

この住民監査請求が棄却または却下された場合は、次の手段として住民訴訟を進めることを予定しています。

STOP THE YAMBA DAM　住民監査請求報告大集会

▼ 日時 ／ 2004 年 9 月 12 日（日）PM1：30～4：30
▼ 場所 ／ 新宿住友ホール（新宿住友ビル地下 1 階 ℡03－3344－6961）
▼ 講演 ／ 田中康夫（長野県知事）「脱ダム社会への道」
▼ 資料代 ／ 1000 円
▼ 主催 ／ 八ッ場ダムをストップさせる市民連絡会